

第1章

「快適」を世界に届ける

アース製薬は、「快適」を世界に届ける企業です。本章では、当社の使命と価値創造の仕組み、そしてそれを支えるグローバルビジネスモデルを提示します。
創業以来培ってきた強みと現在の事業構造を通じて、どのように価値を生み出しているのか、その全体像を示します。

Contents

アース製薬の使命 (提供する3つの価値)	4
アース製薬の価値創造	5
アース製薬のグローバルビジネスモデル	6
アース製薬のインプットと3つの価値	7
アース製薬の歴史	8
At a Glance	9

アース製薬の使命 (提供する3つの価値)

地球を、キモチいい家に。

人と自然の共生を価値創造の源泉に、持続的な企業価値向上を実現する

アース製薬は、生活者の日常における不快や不安に向き合い、人の健康と暮らしに寄り添う価値を提供し続けています。
また、生物多様性の保全や資源循環を通じて、地球環境の持続性に資する価値の創出にも取り組んでいます。
これらの価値を価値創造の起点として位置づけ、持続的な企業価値向上を目指しています。



生活者の“快適さ”

アース製薬は、生活者の日常に寄り添い、不快や不安を解消する製品・サービスを通じて、安心で快適な暮らしを実現します。
社会や生活環境の変化を捉えながら、次の時代に求められる価値を創出していきます。

▶ P.22 第3章 アースの明日はどうやって実現されるのか



働く人・組織の“快適さ”

アース製薬は、働く一人ひとりが安心して力を発揮できる環境を整え、組織としての持続的な成長につなげていきます。

人的資本経営やガバナンスの仕組みを通じて、人と組織の可能性を引き出す価値創造を進めていきます。

▶ P.38 人的資本経営 ▶ P.50 持続可能な調達 ▶ P.52 第5章 ガバナンス



地球環境の“快適さ”

事業活動が自然環境に与える影響と向き合い、生物多様性の保全や資源循環の促進に取り組んでいます。
地球環境の健全性を次世代へ引き継ぐことは、アース製薬の価値創造の根底に存在しています。

▶ P.42 気候変動への対応 ▶ P.43 地球環境問題への配慮

アース製薬の価値創造

アース製薬は、経営理念である「地球との共生」の実現を目指し、人々の健康と快適な生活を支える商品の開発・製造・販売に取り組んでいます。衛生環境や安心・安全への意識が高まる中、家庭用品事業と総合環境衛生事業の両面から、社会の変化に対応しながら価値を提供し続けています。

インパクト

地球との共生を実現し、
快適な暮らしができる喜び

インプット ▶ P.7

ビジネスモデル ▶ P.6

アウトプット

アウトカム

外部環境
認識

▶ P.14

気候変動

生態系
の変化人口動態
の変化テクノロジー
の進化

マテリアリティ

▶ P.15

財務資本



人的資本



知的資本



製造資本

社会・関係
資本

自然資本

価値を創出する
4つの機能研究開発・
商品開発
▶ P.34

生産管理

営業戦略

グローバル
戦略
▶ P.28日本からアジアへ
安全で快適な暮らしを実現アジア地域の衛生環境向上・
快適な暮らしの実現商品・サービスを通じて
日々の暮らしの質の向上を実現虫ケア用品*を
中心として
生活のお悩みを解消現在の
アース製薬将来の
アース製薬

*P.74 [用語集] 参照

中期経営計画

▶ P.16

[Act For SMILE COMPASS 2026]

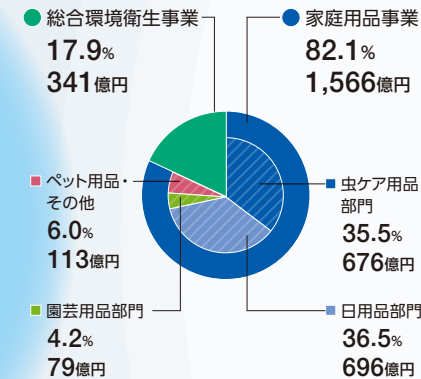
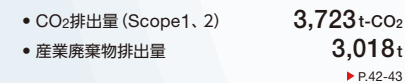
アース製薬の強み

「虫」に関する
圧倒的な専門知識全国に広がる
販売網・営業力お客様目線
での商品開発

価値創出を支える基盤

▶ P.58

コーポレート・ガバナンス

事業部門別売上高
(2025年度)事業からの排出物
(2025年度)

▶ P.42-43

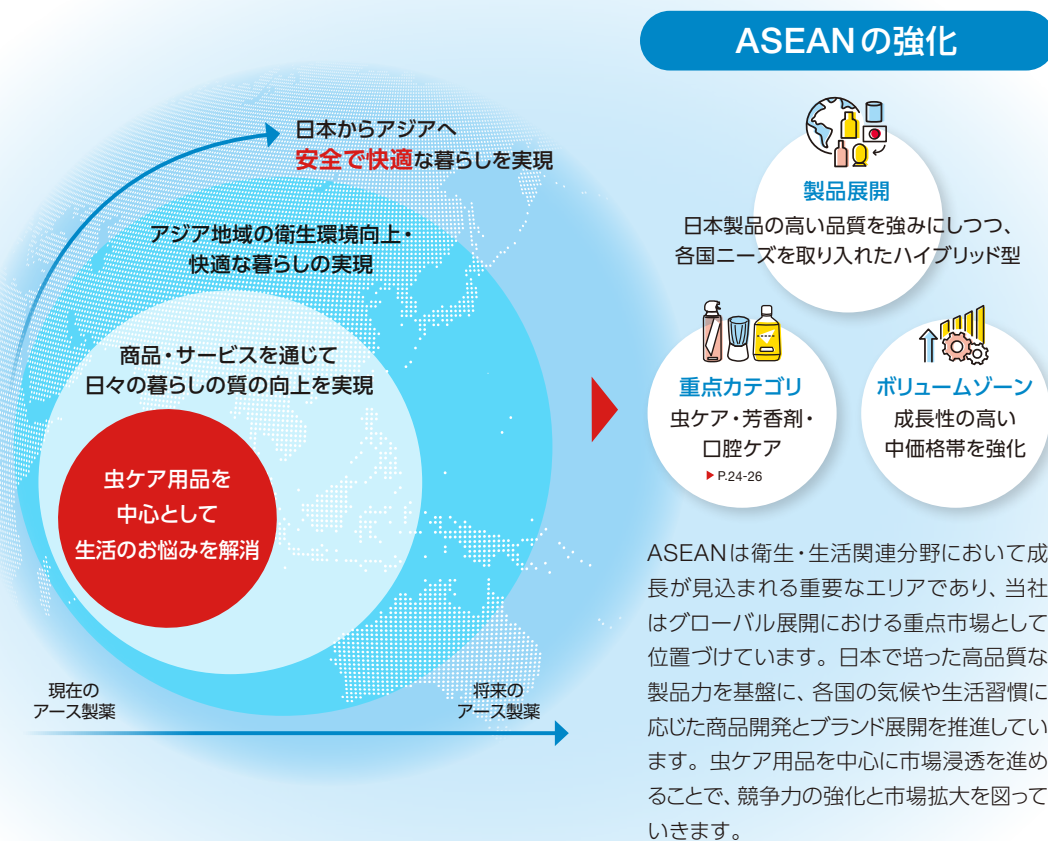
経済的価値

社会的価値

環境価値

アース製薬のグローバルビジネスモデル

アース製薬は、経営理念で「地球との共生」をうたい、人々の健康と快適な暮らしを支えることを使命に、製品・サービスを提供しています。衛生・安全への意識が世界的に高まる中、虫ケア用品を中核とする事業基盤のもと、日本で培った品質とブランドを軸に事業を推進しています。成長市場であるASEANを中心にグローバル展開を加速し、社会課題の解決と持続的な成長の実現を目指します。



競争力強化・市場拡大へ

▶ P.28

 タイ タイ国内シェアNo.1奪取	
 ベトナム 市場シェア拡大に向けて、店頭展開を強化	
 マレーシア 人口の多いエリアをターゲットにGTの新規開拓を実施	
 フィリピン 虫ケア用品の市場シェア拡大	
 中国 各エリアでの攻略企業を設定	
 輸出 サウジアラビア・香港の強化	

アース製薬のインプットと3つの価値

気候変動や生態系の変化、テクノロジーの進化などに伴い、衛生環境や安心・安全に対する意識が大きく変化する中で、アースグループは地球環境に配慮しながら、お客様の健康と生活の向上に貢献する「お客様目線」を大切にしたモノづくりによって、高品質な商品、一歩先の快適さという価値を創造しています。

	経済的価値	社会的価値	環境的価値			
インプット	財務資本 - 自己資本749億円 - 有利子負債79億円	人的資本 (数値は2025年12月期) - 従業員数(連結)4,963名 - 研究開発部門に属する社員(連結)358名	知的資本 - 高付加価値商品の開発 - 研究開発に関わる専門性の高い人財 - 産学連携、協力機関との研究	社会・関係資本 - サプライヤー374社 - 虫ケア市場 シェアNo.1 (59.2%) *1 - 日本MA-T工業会*の設立 - 全国販売網約12万件	自然資本 - エネルギー使用量131,498GJ - CO2排出量 (Scope1、2)3,723t-CO2 - 水使用量(取水量)137.7千㎡	
	2025年度実績	1株当たり配当125円 - 総還元性向49.9% - TSR(10年(累積))123.3%	- 従業員エンゲージメントサーベイBB(全11段階) - 有給休暇取得率82.2% - 女性管理職比率12.6%	お客様のお気づきを活かす窓口部* 対応件数年間79,157件	- 商品の提供・啓発活動を通じて虫を媒介とした感染症の拡大を防止 - 高品質な虫育成技術により研究試料として公的機関などへの提供32機関、18,159匹 - 防災に寄与する商品開発による地域貢献 6年連続「健康経営優良法人2026～ホワイト500～」に認定	- CO2排出量 (Scope1、2)31.7%削減*2 - GHG排出量に関する第三者検証取得 - 水使用効率1.7%向上*2 - 産業廃棄物最終処分率0.7%
	課題	- 外部環境の変化に適應できる財務基盤の構築 - グループシナジーを最大化した資本効率(ROE等)のさらなる改善 - 財務の健全性を意識したBSマネジメント▶P.19	女性管理職比率のさらなる向上と多様性の確保▶P.38	- 国内市場の成熟化に伴う、非連続なイノベーションの必要性 - MA-T®技術などの独自技術を活用した新領域への展開スピード▶P.32、34	- 感染症リスク等に対応した、より強靱なサプライチェーンの構築 - MA-T®技術の社会的認知度のさらなる向上▶P.32、34、50	- 生産量増加に伴うエネルギー使用量、水使用量の増加 - 水の循環利用方法・技術の確立 - 返品・廃番商品の増加▶P.42、43
	将来の価値創造に向けたアウトカム	- 安定的かつ継続的な株主還元 - グループシナジーによる企業価値の向上	- アジア地域の人々の衛生環境向上、快適な暮らしの実現 - Well-beingを実感できる職場環境の整備・社内文化醸成 - 経営・事業戦略に必要な人財の確保・育成 - 多様な人財の自律したキャリア形成支援と仕組みの整備			
今後の取り組み	- グループ全体でのコスト構造改革と高付加価値商品の比率向上 - 収益力・資本効率の改善 - 安定的な株主還元	多様な人財が自律したキャリア形成を支援する仕組みのさらなる整備	- 産学連携・協力機関との研究を加速させ、高付加価値商品を連続投入 - お客様の「気づき」を製品開発に即座に反映させるデジタル活用の深化	- 防災・感染症対策を通じた地域社会への貢献とパートナーシップ強化 - 日本MA-T工業会を核とした産官学連携・異業種連携による社会実装の加速	- 省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの拡大 - 水洗浄方法の見直し・最適化、水の循環利用 - リサイクルや分別に配慮した商品開発	

*P.74「用語集」参照

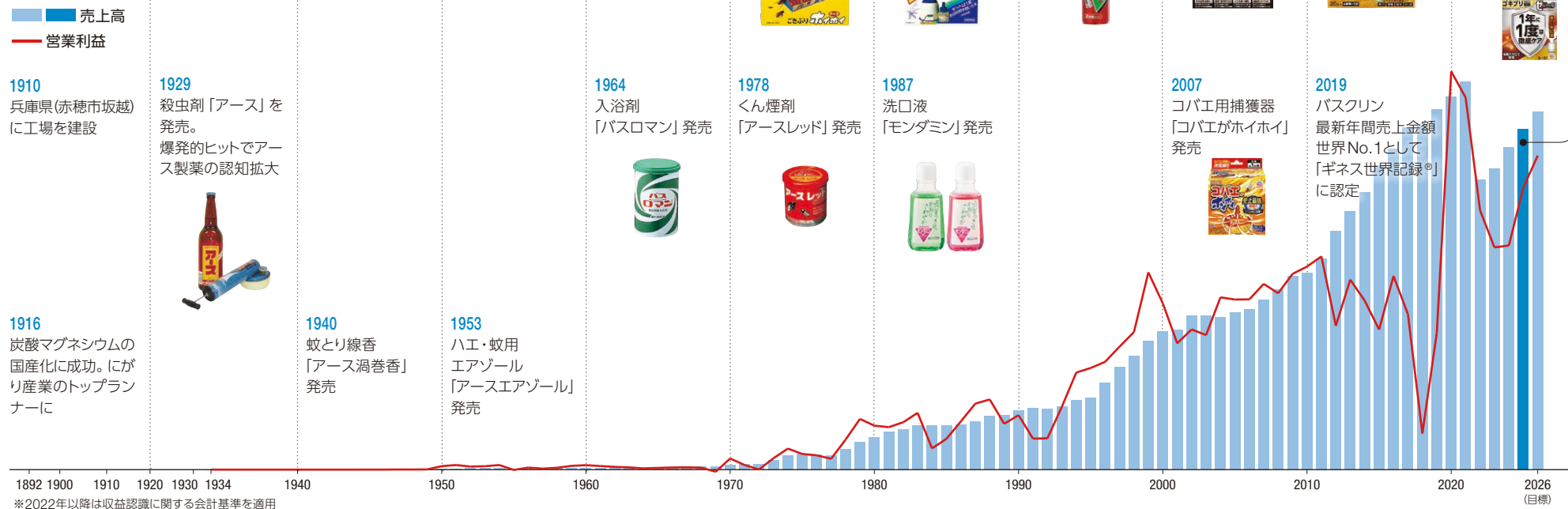
*1 インターソーSRI+ 殺虫剤市場(園芸剤除く) 全国計・全業態計 2025年1月～12月 累計販売金額

*2 2020年比

アース製薬の歴史

アース製薬は100年以上にわたり「お客様目線」を大切に、新商品の開発と既存サービスの改良に真摯に向き合い、時代の変化に応え続けてきました。現在は、国内外で人々の健康と快適な生活の実現に貢献し、社会と共に着実な成長を遂げています。

売上高・営業利益の推移



国内展開

- 1982 木村秀蔵が大阪(難波)で創業
- 1925 (株)木村製薬所設立
- 1964 アース製薬(株)に社名変更

- 1970 経営再建のために取引のあった(株)大塚製薬工場に資金援助を要請故大塚正富氏を社長に招聘
- 1978 アース環境サービス(株)設立

- 1980 タイに進出
- 2012 (株)バスクリンを子会社化
- 2014 白元アース(株)を設立して子会社化
- 2017 コーポレートロゴ、スローガンを一新

- 2025 設立100周年(株)プロトリフを子会社化
- 2026 (株)バスクリンを吸収合併

海外展開

- 1980 ARS CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD. (現 Earth (Thailand) Co., Ltd.) を設立

- 1990 天津阿斯化学有限公司を設立
- 2005 安速日用化学(蘇州)有限公司を設立
- 2015 安斯(上海)管理有限公司(現 安斯(上海)投資有限公司)を設立

- 2017 A My Gia Joint Stock Company (現 Earth Corporation Vietnam) を子会社化

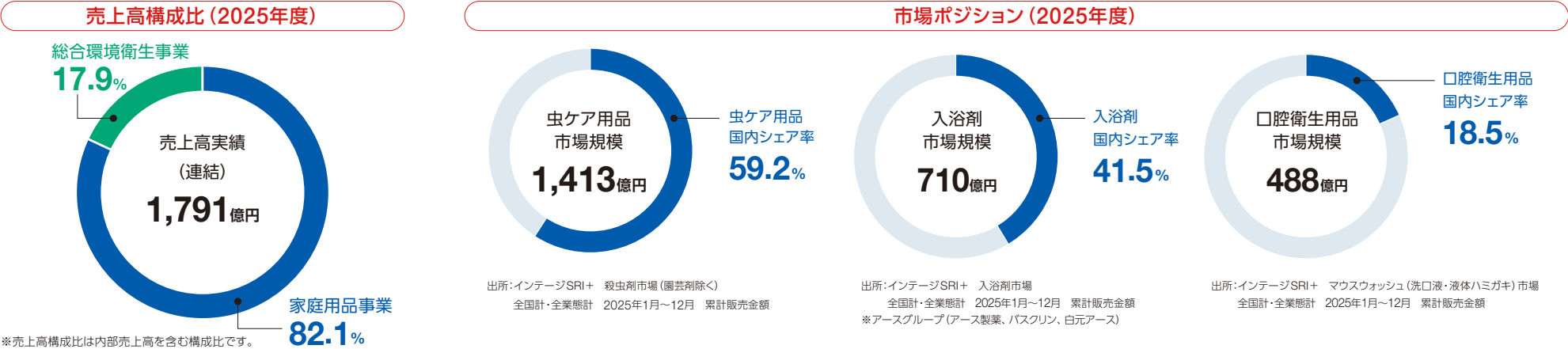
- 2019 EARTH HOME PRODUCTS (MALAYSIA) SDN.BHD. を設立
- 2022 EARTH HOMECARE PRODUCTS (PHILIPPINES), INC. を設立

「殺虫剤」から「虫ケア用品」へ

アース製薬の開発の歴史は、既存商品の改良の歴史とも言えます。競合商品を研究し、蒸気で薬剤を拡散させる「アースレッド」や強力な噴霧力の「ゴキジェットプロ」など、より効果のある商品を次々と開発。2017年には「虫ケア用品」という独自の用語を提唱し、消費者への配慮や商品の安全性、環境対応など、機能性の追求に留まらない商品開発に取り組んでいます。

At a Glance

アース製薬は、安全で、安心で、使うほどに心地よい毎日を実現するため、暮らしの中に寄り添った事業を行っています。家庭用品事業と総合環境衛生事業の2つの事業を通して、人々の健康で快適な暮らしを支えます。



数字で見るアース製薬 (2025年度)

アース製薬では、常に「お客様目線」を大切に努力を重ね、新商品の開発と既存サービスの改良に取り組んでいます。市場シェアはお客様の支持率と考え、安心して快適な暮らしに貢献する商品・サービスを提供し続けます。

財務	売上高	営業利益	ROE	1株当たり年間配当金	DOE
	1,791億82百万円 前年度比5.9% ↑	80億87百万円 前年度比25.9% ↑	7.3% 前年度比2.2pt ↑	125円 前年度比+5円 ↑	3.8% 前年度比0.1pt ↓
アースブランドを支える力	「お客様のお気づきを活かす 窓口部」対応件数	研究開発部門に 属する社員	製造拠点数	展開国数	総合環境衛生事業 契約件数
	79,157件 ▶ P.48	358名 (連結) ▶ P.35	11カ所* (グローバル) ※2026年5月13日付で安速日用化学 (蘇州) 有限公司の解散を発表	世界約 50カ国・ 地域へ輸出販売 ▶ P.29	16,077件 ▶ P.30
					従業員エンゲージメント サーベイ BB ▶ P.40 ※エンゲージメント・レーティングは AAA~DDの全11段階評価